

## 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果の概要

伊那市教育委員会

### 1 調査の目的(文部科学省)

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 平成31年度調査実施日 平成31年4月18日(木)

3 調査対象 小学校第6学年 中学校第3学年

### 4 調査内容

(1) 教科に関する調査

・小学校調査：国語 算数 ・中学校調査：国語 算数 英語

(2) 質問紙調査

・児童生徒に対する質問紙調査 ・学校に対する質問紙調査

### 5 結果の概要と改善のポイント

(1) 小学校国語

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く力がついている。日常の授業で、指定された条件の中でまとめて書くことの指導が行われている成果と思われる。

しかし、敬体と常体の使い分けといった、時と場に応じた言葉遣いについての課題がみられたため、様々な状況を設定するなどの授業改善が必要である。また、同音異義語に注意して、漢字を文の中で正しく使う指導を引き続き行う必要がある。

(2) 小学校算数

算数の基礎的な学力はおおむね定着している。示された計算の仕方を解釈し、被除数と除数にかける数や被除数と除数を割る数を選び、計算しやすい式にして計算する力がついている児童が多い。

しかし、示された除法の式の意味を理解しているかをみる問題では課題がみられ、日常の授業において、計算練習に終始したり、答えを求めることのみをねらいにしたりするのではなく、数や式の意味を考え合う授業を構想していくことが大切である。

(3) 中学校国語

封筒の書き方についての理解や話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをまとめる力は定着している。

しかし、書いた文章を読み返し、論にふさわしい語句や文の使い方を検討する力や、伝えたい事柄について、根拠を明らかにして書く力に課題がみられた。授業において、テーマや条件を示してそれに即して書く場を設けたい。さらに友達の文章について、良さを指摘し合ったり推敲し合ったりするなどの活動を取り入れ、表現の工夫を学ぶ授業を構想していきたい。

(4) 中学校数学

中学校数学の基礎的な学力はおおむね定着している。数の集合と四則計算の可能性についての理解などに力の定着が表れていた。

しかし、「連続する5つの奇数の和は中央の奇数の5倍になる、という予想がいつでも成り立つことを証明する」問題に課題がみられ、自分の考えを数式を用いて書き表したり、説明したりする力をつけていく必要がある。既習の内容や手法を想起させる場面を設定し、活用することを通して解法への意欲を高め、ペアやグループでの活動を取り入れて、立式の後に式の意味を考え合う場面なども設定しながら、解くことができた喜びを感じさせたい。

(5) 中学校英語

ある状況を描写する短い英語を聞いてその内容を最も適切に表している絵を選択したり、あ

る程度文章のまとまりがある英語を聞いて話の概要を理解したりする、といった基礎的な学力の定着がみられた。

しかし、同じ「聞くこと」領域でも、文章の内容が段階的に発展してく問題では、情報を正確に聞き取る力が不足している傾向がみられた。インタラクション(教師と生徒との英語でのやりとり)やsmall talk(ある話題について短かい英語で話をする)を授業に位置づけ、必要感のあるテーマや場面設定を工夫し、既習表現を用いて英語を使った「やりとり」を毎時間の授業に位置づけていきたい。

また、読み取りの力を高めるために、英語の文章を読んで全体のおおまかな内容をとらえたり、各段落の最も大切な英文を選んだりしたうえで、さらにそれらと比較するなどして、文章の最も大切な部分について意見交換をする、といった授業を構想したい。

## 6 児童・生徒質問紙調査から

伊那市の小中学生は、地域の行事への参加がよく行われている傾向が顕著に表れている。基本的な生活習慣では、毎日決まった時間に起きる習慣が身につけており、朝食を毎日食べることや決まった時間に寝ることについても定着している。

小学生の多くは、先生は自分のいいところを認めてくれていると感じているが、中学生はややその割合が低下している点を今後の課題としたい。

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと感じている小中学生が大多数を占めている点を今後も大切に考え、道徳の時間の一層の充実を図りたい。

## 7 今後の取組

各校においては、調査結果の分析を行い、授業改善の方向を具体化するとともに、個票を基に定着に課題のある内容について個別指導等の取組を進めたい。

市で導入を進めているICTの活用について研究を進め、ICTの活用を工夫して子どもと共に創る授業となるよう改善を具体的に進めていきたい。

また、本年度より英語科教員、校長、教頭からなる英語・外国語活動研究委員会を設置し、英語の学力向上についての具体的な取組みをスタートさせている。